

説明書

あなたにこれから提供する再生医療は、あなたから採血した血液の血小板を肌に浸透させる事によって、組織の修復を促す PRP(自己多血小板)ナノカプセル法です。これは健康保険で認められた治療法ではなく、主治医、佐野クリニック院長、佐野徹とあなたの同意によって行われる治療です。この PRP(自己多血小板)ナノカプセル法は、厚生労働大臣に、再生医療等提供計画に提出したものです。まず、あなたの血液を上肢などから採取し、その血液に含まれる血小板を、遠心分離機を用いて濃縮分離をします。次に濃縮した血小板をクリーンベンチ内で、抗酸化ビタミンを使い多層ミセル化を行います。それを皮下に、イオン導入で送り込む事によって、組織や増生を促すものです。血小板治療は歯科領域での治療、形成外科領域で、糖尿病性潰瘍や褥瘡の治療に応用されており、最近では整形外科領域でも腱鞘炎、関節炎などの治療に応用されてきています。この血小板治療の利点は、自分の細胞を増やす事によって効果を得る事ができる点で、異物を注入する治療法とは異なります。また、個人によっては、極稀に赤み等の反応がでることがありますが、軽度で済み、ステロイド等の塗布で改善する事ができます。同じような効果をもたらす治療法として、ヒアルロン酸注入療法、自己脂肪注入などがあります。ヒアルロン酸注入療法は、すでに製品化されたヒアルロン酸製剤を局所に注入するものです。脂肪を採取するためにその部位も麻酔が必要です。注入された脂肪細胞は 30% -50%程度しか生着しないため、多めの量を注射することになります。このため、晴れや内出血の程度が高くなります。また、注入した脂肪が壊死することもあります。最終的にこれらの治療法はほぼ同様な効果が得られますが、効果の持続期間、腫れ、内出血の程度に違いがあります。PRP(自己多血小板)ナノカプセル法の再生医療を提供する対象として、アンチエイジングの患者で、自己多血小板(PRP)ナノカプセル法を受けたい方、健康状態良好な 18 歳以上の血液を採取する。悪性腫瘍が現にある、感染性疾患がある、明らかな炎症性疾患がある場合は出来ません。治療費は治療範囲によって異なります。20cc 採血し、PRP(自己多血小板)ナノカプセルを作成して、イオン導入する場合は 15 万円(税別)です。なお、この治療法を受けることはあなたの任意であり、拒否したり、同意を撤回することによって不利益をうけることはありません。また、あなたは治療を受ける前のいつでも同意を撤回できます。この再生医療を受けたことによって、あなたの健康に被害を受ける様な事があった場合は、再生医療委員会への報告をするとともに、当院での治療や大学病院への紹介等を行い改善に努めます。PRP(自己多血小板)治療は患者自身の組織(血液)を用い、短時間の操作であり、かつ培養、遺伝子操作などの組織の改変をもたらす手技ではない為、保存しません。この治療をするのは、採血から再生医療提供まで全て佐野クリニックで、院長、佐野徹が行います。採血をする際に血管を傷つけて青あざの様な内出血を伴う可能性があります。また採血時の不手際で神経損傷などの危険が考えられますが、その確率は通常の検査の採血リスクと同程度です。この治療に関して疑問、質問、問い合わせがある場合はいつでも、福岡市中央区天神 2-7-9 天神 27 ビル 6 階、佐野クリニック(電話番号 092-751-0333)院長、佐野徹にお問い合わせください。あなたの個人情報は当クリニックの個人情報保護規定によって保護されます。この治療で得られた発見が、その後の特許に繋がる可能性もありますが、この権利は当クリニック又は発見者に帰属します。本治療もしくは治療後において、本治療に関連する品質情報を入手した場合は適切に情報を提供致します。なおこの再生医療は再生医療等の審査業務を行う、特定非営利活動法人先端医療推進機構認定再生医療等委員会名古屋 FAX 052-745-6882

E-メール nintei@japsam.or.jp の第三種再生医療等の審査を受けてます。

(令和 2 年 5 月 12 日 作成)